



お知らせ
報道関係者各位

2026年1月28日
フリー株式会社

**freeeが2026年にキャリアに変化を起こしたい人へ「独立・起業」に関する意識調査を実施
昇進・転職希望者の2人に1人が「独立準備」を並行する新時代へ**

■マジ価値調査サマリー

- ・2026年にキャリアに変化を起こしたい人の約半数が独立に向けた情報収集をしている
 - ・独立・起業の準備をする意味について、昇進・転職意向層は「攻め・賭け」、副業・独立意向層は「守り・自衛」が相対的に高いことがわかった
 - ・特に、意向に問わず年代が上がるほど、独立・起業の準備を「守り・自衛」と捉える社会人が増加する傾向に
 - ・副業・独立意向層は「事業はスモールスタートで、段階的に拡大する」予定の会社員が多いことが明らかになった
-

フリー株式会社(本社:東京都品川区、CEO:佐々木大輔、以下「freee」)は、昇進・転職意向の会社員と副業・独立意向の会社員を対象としたキャリアに関するアンケート調査を実施しました。

<調査概要>

調査期間:2026年1月16日～1月19日

調査方法:Webアンケート方式

調査対象:昇進・転職意向の会社員と副業・独立意向の会社員に当てはまる全国の20～50代男女

回答者数:1279名(昇進・転職意向の会社員:646名、副業・独立意向の会社員:633名)

- 「昇進・転職」層・「副業・独立」層ともに2人に1人が「独立」への情報収集を実施

いつかは独立して自分の会社や事業を持ちたい という気持ちはありますか？



「昇進・転職意向層」でも50%近い方が独立の準備、情報収集をしていることが分かりました。
副業・独立意向層では55%を超えており、会社員の半数以上が今後のキャリアの選択肢として「独立」が視野に入っていることが分かりました。

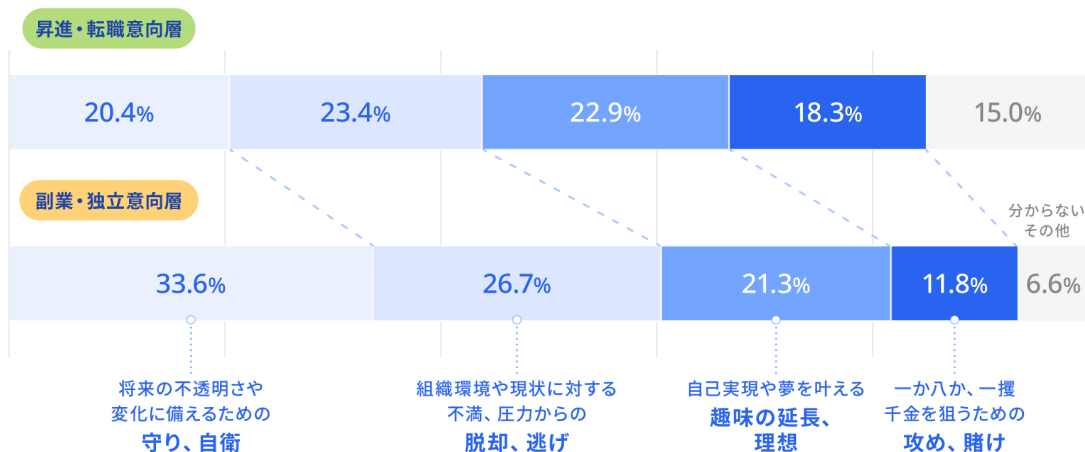
調査概要

調査期間：2026年1月16日～1月19日 調査方法：インターネット調査 調査対象：20歳～59歳の男女で、「昇進・転職意向の会社員(n=646)」と「副業・独立意向の会社員(n=633)」の合計1,279名 居住エリア：全国

いつかは独立して自分の会社や事業を持ちたいという気持ちがあるかと聞いたところ、「昇進・転職意向層」でも50%近い方が独立の準備、情報収集をしていることが分かりました。副業・独立意向層では55%を超えており、会社員の半数以上が今後のキャリアの選択肢として「独立」が視野に入っていることが分かりました。

■会社員の起業準備の意義は副業・独立層の「守り」、昇進・転職層の「攻め」で二極化

今の時代において、会社員が「独立・起業」の準備をしておくことは、どのような意味を持つと思いますか？
あなたの考えに最も近いものを選んでください。



「副業・独立意向層」の方が「守り・自衛」の回答が10ポイント以上高い結果となりました。
具体的な事業構想を描いている方がより現実的なイメージが湧いているのかもしれません。

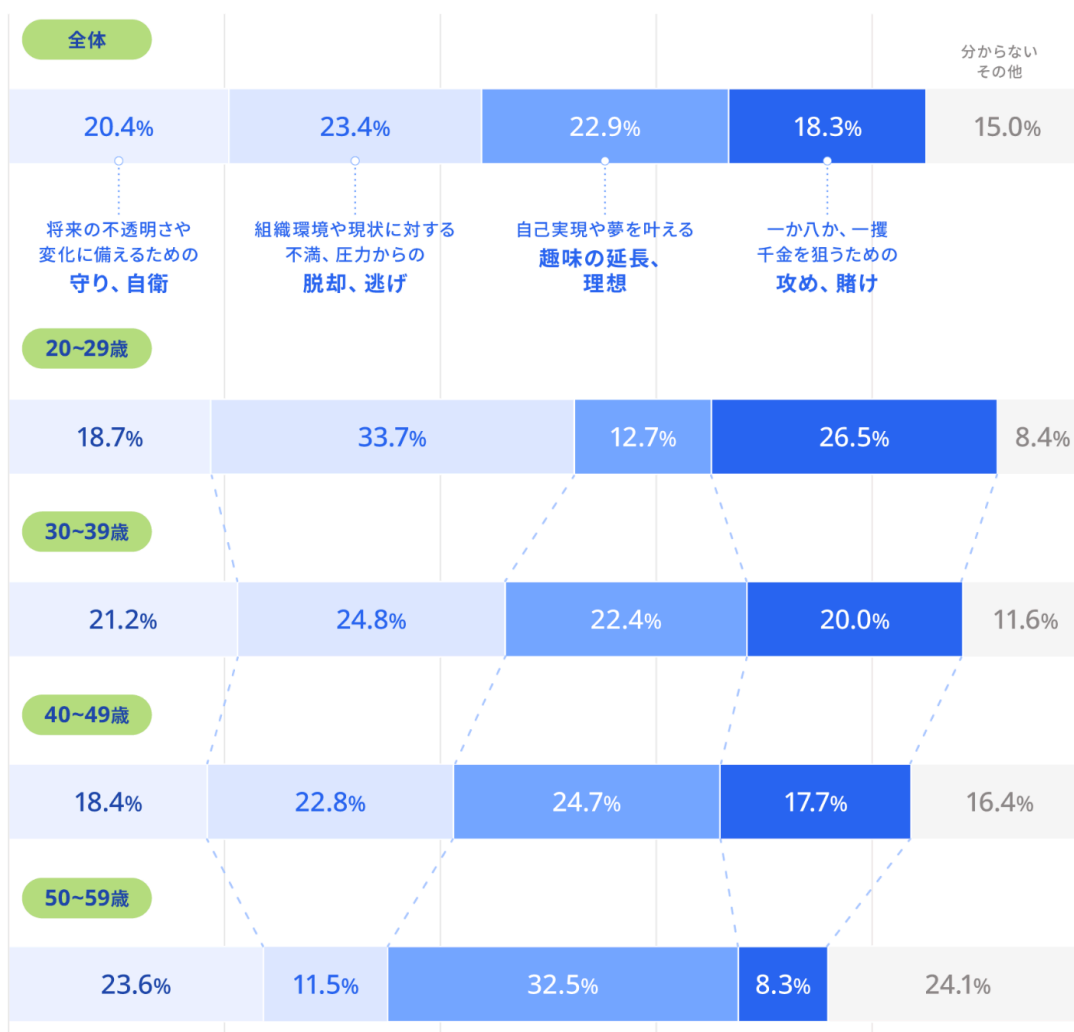
調査概要

調査期間：2026年1月16日～1月19日 調査方法：インターネット調査 調査対象：20歳～59歳の男女で、
「昇進・転職意向の会社員(n=646)」と「副業・独立意向の会社員(n=633)」の合計1,279名 居住エリア：全国

「今の時代において、会社員が独立・起業の準備をすることの意義」を尋ねたところ、「副業・独立意向層」はそうでない層に比べ、「守り・自衛」と回答した割合が10%以上高い結果となりました。このことから、具体的な事業構想を持つ層ほど、現状とかけ離れた野心的な挑戦（攻め）よりも、むしろ現在の生活の維持や社会の変化への適応（守り）を目的としたキャリアチェンジを志向している、という仮説が立てられます。

■30代以降は、独立準備は挑戦的独立から防衛的独立へシフト

今の時代において、会社員が「独立・起業」の準備をしておくことは、**どのような意味を持つ**と思いますか？
あなたの考えに最も近いものを選んでください。



全体の割合では「脱却・逃げ」、「趣味の延長・理想」、「自衛・守り」、「攻め・賭け」の順になりました。
年代別に見ると、20代では「脱却・逃げ」や「攻め・賭け」が多いですが、年代が上がるにつれ「自衛・守り」や「趣味の延長・理想」が増加していることがわかりました。

調査概要

調査期間：2026年1月16日～1月19日 調査方法：インターネット調査 調査対象：20歳～59歳の男女で、「昇進・転職意向の会社員(n=646)」と「副業・独立意向の会社員(n=633)」の合計1,279名 居住エリア：全国

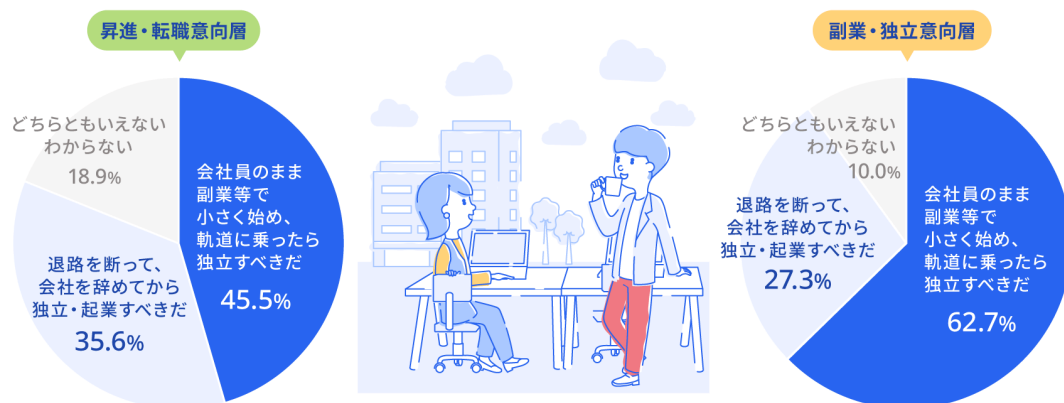
「今の時代において、会社員が独立・起業の準備をすることの意義」を年代別に調査したところ、年代が上がるにつれて「守り・自衛」や「趣味の延長・理想」といった回答の割合が増加し、逆に「脱却・逃げ」や「攻め・賭け」は減少する傾向が見られました。



30代以降は、起業を「キャリアを180度変える大きな転換」と捉えるのではなく、現在の生活を補填する手段や、趣味を活かした事業の推進など、実生活に即した地続きの活動として捉える人が多いことが浮き彫りになりました。

■副業・独立の戦略は、スモールスタートによる段階的拡大が主流に

会社員を辞めて独立する場合、 ご自身の考えに近いのはどちらですか？



「会社員のまま副業等で小さく始め、軌道に乗ったら独立すべきだ」の方が多い結果となりました。独立や起業は、「会社員からしっかりスイッチを切り替える」というより、「グラデーションをかけて少しずつ目指していく」という考えが主流になっている様子が伺えます。

調査概要

調査期間：2026年1月16日～1月19日 調査方法：インターネット調査 調査対象：20歳～59歳の男女で、「昇進・転職意向の会社員(n=646)」と「副業・独立意向の会社員(n=633)」の合計1,279名 居住エリア：全国

会社員を辞めて独立する場合の考え方について尋ねたところ、「会社員のまま副業等で小さく始め、軌道に乗ったら独立するべきと考える」人が、昇進・転職意向層は45.5%、副業・独立意向層は62.7%でした。副業・独立意向層は事業を小さく始めて段階的に拡大していく考えの会社員が多いことがわかりました。

■freeeは「独立の情報収集」を支えるパートナーへ

今回の調査により、2026年にキャリアの変化を志向する人の約半数が、すでに独立に向けた具体的な情報収集を開始している実態が明らかになりました。独立・起業の準備が持つ意味については、昇進・転職意向層が「攻め・賭け」としての側面を重視する一方で、副業・独立意向層は「守り・自衛」と捉える割合が相対的に高いという対照的な結果が出ています。特に、意向の有無に関わらず年代が上がるほど独立準備を「守り・自衛」と捉える社会人が増加する傾向にあるほか、副業・独立意向層の間では、事業をスモールスタートで始め、段階的に拡大させていくことを予定している会社員が多いことも判明しました。freeeでは、こうした独立検討時の情報収集をサポートするために「ソダテル by freee」を公開しており、今回ご紹介した内容以外の詳細な調査結果も同サイトにてご確認いただけます。今後も、働き方に関する最新の調査データやキャリアチェ



ンジに挑戦した先輩社会人の体験談などを順次発信し、多様なキャリア形成を支援してまいります。

「ソダテル by freee」とは



「ソダテル by freee」は、これからのキャリアを考えるミドル層の会社員から、すでに事業を始めた個人事業主まで、「自身の事業を成長させたい」と願うすべての人を応援するための、プラットフォームです。

新しい働き方への挑戦や起業のリアルな実態など、あらゆる「知」と「声」を集め、スモールビジネスに携わるすべての人の新しい働き方をサポートします。

ソダテル by freee: https://portal.secure.freee.co.jp/growth/entre_knowledge/003

■フリー株式会社 概要

会社名 フリー株式会社

代表者 CEO 佐々木大輔

設立 2012年7月9日

所在地 東京都品川区大崎1-2-2アートヴィレッジ大崎セントラルタワー 21階

<https://corp.freee.co.jp/>

＜経営者から担当者にまで役立つバックオフィス基礎知識＞: <https://www.freee.co.jp/kb/>

＜フリー株式会社 採用サイト＞: <https://jobs.freee.co.jp/>

freeeは「スモールビジネスを、世界の主役に。」というミッションのもと、だれもが自由に経営できる統合型経営プラットフォームを実現します。日本発のSaaS型クラウドサービスとして、パートナーや金融機関と連携することでオープンなプラットフォームを構築し、「マジ価値」を提供し続けます。

＜報道機関の方からのお問い合わせ先＞

フリー株式会社 広報 (PR) 神力実由花

Tel:090-3384-7282 E-mail: pr@freee.co.jp

※その他の皆様からの問い合わせは下記フォームよりお問い合わせください



<https://freee.my.site.com/HelpCenter/s>